

朝顔とともに育つ 1 年生

初夏のやわらかな日差しのもと、一年生が大切に育てている朝顔に、毎朝静かに水を注ぐ姿が見られます。その様子は、本校の日常に彩りを添える、心和む営みです。

この水やりの活動には、単なる栽培体験を超えた、深い学びが内包されています。子どもたちは、小さな種から芽が出て、葉を広げ、つるを伸ばしていく姿に心を寄せながら、「命の尊さ」を実感していきます。また、日々欠かすことのできない世話を自ら担う中で、自分の役割を果たそうとする責任感も、少しずつ育まれていきます。

さらに、「昨日より葉が大きくなった」「もうひとつ芽がでてきた」といった気づきは、子どもたちの観察する力を養うとともに、物事の変化に丁寧に目を向ける姿勢を育てています。

こうした朝顔の姿は、子どもたち自身の成長と重なります。入学当初、不安や戸惑いを抱えていた一年生も、日々の積み重ねの中で着実に学校生活に適応し、自らの力でできることを増やしてきました。朝顔が少しずつ成長するように、子どもたちもまた、一步一步、確かな歩みを進めています。

朝顔は、人の手による丁寧な関わりの中で、より健やかに育ちます。同様に、子どもたちもまた、周囲の温かな支えに包まれながら、その可能性を伸ばしていきます。学校と家庭が心を合わせて見守ることで、その成長はより確かなものとなると考えます。

一人ひとりの子どもたちも、それぞれのよさを大切にしながら、やがて大きく花開くことと確信しています。今後とも温かいご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



熱中症に注意です。ミストシャワー設置しました

朝夕と日中の気温差が大きい日が続いており、疲れがたまりやすい時期となっています。校内でも体調を崩している子どもたちが見受けられます。また、日中は 30 度を超える日もあり、熱中症への注意が必要です。ご家庭におかれましては、いつもより少し多めの水分を持たせていただきますようお願いいたします。

あわせて、規則正しい生活を送ることも大切です。十分な睡眠を確保できるよう、夜更かしや、遅くまでゲーム等をするのがないようご配慮いただくと幸いです。

なお、昨年度 PTA で 1 台、学校で 1 台の計 2 台の「ミストシャワー」を購入しました。暑い日には運動場に設置しており、子どもたちからは「気持ちいい」「またやりたい」といった声が多く聞かれています。今後も暑さ対策を工夫しながら、子どもたちが安心して活動できる環境づくりに努めてまいります。



プールが始まります。コドモン連絡ツールをお願いします

6 月 15 日 (月) より水泳学習が始まります。各ご家庭では水着等のご準備をお願いしていることと存じます。さて、以前からコドモン連絡ツールを活用した連絡方法に変更させていただきましたが、**入力について見学の場面のみ、コドモンでご連絡するよう「コドモンによる水泳参加連絡及び承諾書について」のお手紙でお知らせしていますので、ご確認をお願いいたします。**



5 月の放送朝会より～やさしい言葉を大切に～

新年度が始まり、早いもので約 1 か月がたちました。子どもたちは新しい学年や学級にも少しずつ慣れ、友だちとの関係も広がってきているところです。

5 月の放送朝会では、「やさしい言葉の使い方」について話をしました。やさしい言葉を使うために、子どもたちには次の 4 つのポイントを伝えています。

- ・言う前に「相手の気持ち」を想像すること
- ・友だちの「よいところ」や「がんばり」に気づくこと
- ・困っている人に声をかけること
- ・きつい言葉が出そうなときは「言い直す」こと



これからの時期は、気温の変化や学習の難しさから、疲れやいらだちを感じやすくなることもあります。だからこそ、文句の言葉ではなく「応援の言葉」、責める言葉ではなく「支える言葉」を大切にしてほしいと考えています。また、「一日に一回、だれかを元気にする言葉を使う」ことにも取り組んでほしいと呼びかけました。

ご家庭でも、言葉の選び方ややさしい声かけについて、ぜひ話題にいただければ幸いです。子どもたちの周りに、あたたかい言葉が広がっていくことを願っています。

やさしさがつながる朝の風景

先日の朝のことです。低学年の子がきょうだいげんかをして下足室で泣いていると、高学年の子が「大丈夫？」と声をかけ、教室まで連れて行って行ってくれていました。その様子をご覧になった保護者の方から、「とってもやさしいまなざしで、うれしくなりました」とお褒めの言葉をいただきました。

新年度が始まって 2 か月ほどがたち、子どもたちも少し疲れが見える頃です。校門では、おうちの方と離れるのが寂しくて涙を見せることもあります。そんなときにも、高学年の子が「一緒に行こう」とやさしく声をかけ、手をつないで校内へ入っていく姿が見られます。

このような自然なかかわりはとても素敵であり、高学年のやさしい姿が、下の学年の子どもたちの心を育てているのだと感じます。